

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和04年12月13日

計画の名称	相模原市緑地保全事業													
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	相模原市													
計画の目標	やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐためには、多様な生物の生命、清らかな水や豊かなみどりを大切に守り育てることが必要です。 そのため、相模原市水とみどりの基本計画においては緑地の公有地化の拡大を推進施策に位置付けており、近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区の買入を進め、市街地に残る貴重なみどりの保全・再生を目指します。 また、近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内は、樹木の高木・老木化、近年の豪雨やナラ枯れなどの病害虫による倒木など緑地の荒廃が進行しています。「相模原近郊緑地特別保全地区」は「木もれびの森」として市民に親しまれており、都市近郊に残された貴重な平地林として、多様な生態系の保全や温室効果ガスの吸収、環境教育の場の提供など、多面的な機能を担っています。「木もれびの森保全・活用計画」に基づき、間伐や皆伐後の植樹、緩衝区域の整備などを、段階的かつ長期的な計画のもと進め、木もれびの森の再生を図ります。合わせて「相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区」の竹林は、その性質から周囲の森林へ拡大・侵入し、生物多様性に富んだ樹林が失われている状況であることから、伐採及び広葉樹への樹種転換を図り、緑地の再生・整備を行います。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,775	A	2,775	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末
1	近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の緑地について、都市緑地法に基づき買入申出がなされた場合において土地の買入れを行い、公有地化の拡大を図り、市街地に残る貴重なみどりを将来にわたって保全する。			
	近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の買入れが必要な面積のうち、買入れを行った面積の割合の増加（27.0%→31.9%）	27%	29%	32%
2	相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区の緑地（竹林）について再生・整備を行い、温室効果ガスの吸収源や多様な生物の生息・生育空間としての緑地の機能の維持増進を図る。			
	皆伐・択伐を実施する竹林面積のうち、継続した下草刈や、植樹等により、樹種転換を図った面積の割合の増加（0%→100%）	0%	59%	100%
3	相模原近郊緑地特別保全地区の緑地（木もれびの森）について再生・整備を行い、温室効果ガスの吸収源や多様な生物の生息・生育空間としての緑地の機能の維持増進を図る。			
	「木もれびの森」の緑地（70ha）を適切に整備・管理された緑地面積とし、温室効果ガスの吸収量を増加する。○定量的指標の現況値及び目標値：Co2吸収増加量の達成率（0%→17%） （3.41t-Co2/ha（*1）×整備面積）/238.7t-Co2（*2）*1 整備済緑地のha当たりCo2吸収量増加量：3.41t-Co2/ha（適切に管理された緑地のCo2吸収量4.95t-Co2/ha－未管理緑地のCo2吸収量1.54t-Co2/ha）*2 Co2吸収量増加量の目標値：（将来のCo2吸収量346.5t-Co2）－（現在のCo2吸収量107.8t-Co2）	0%	0%	17%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

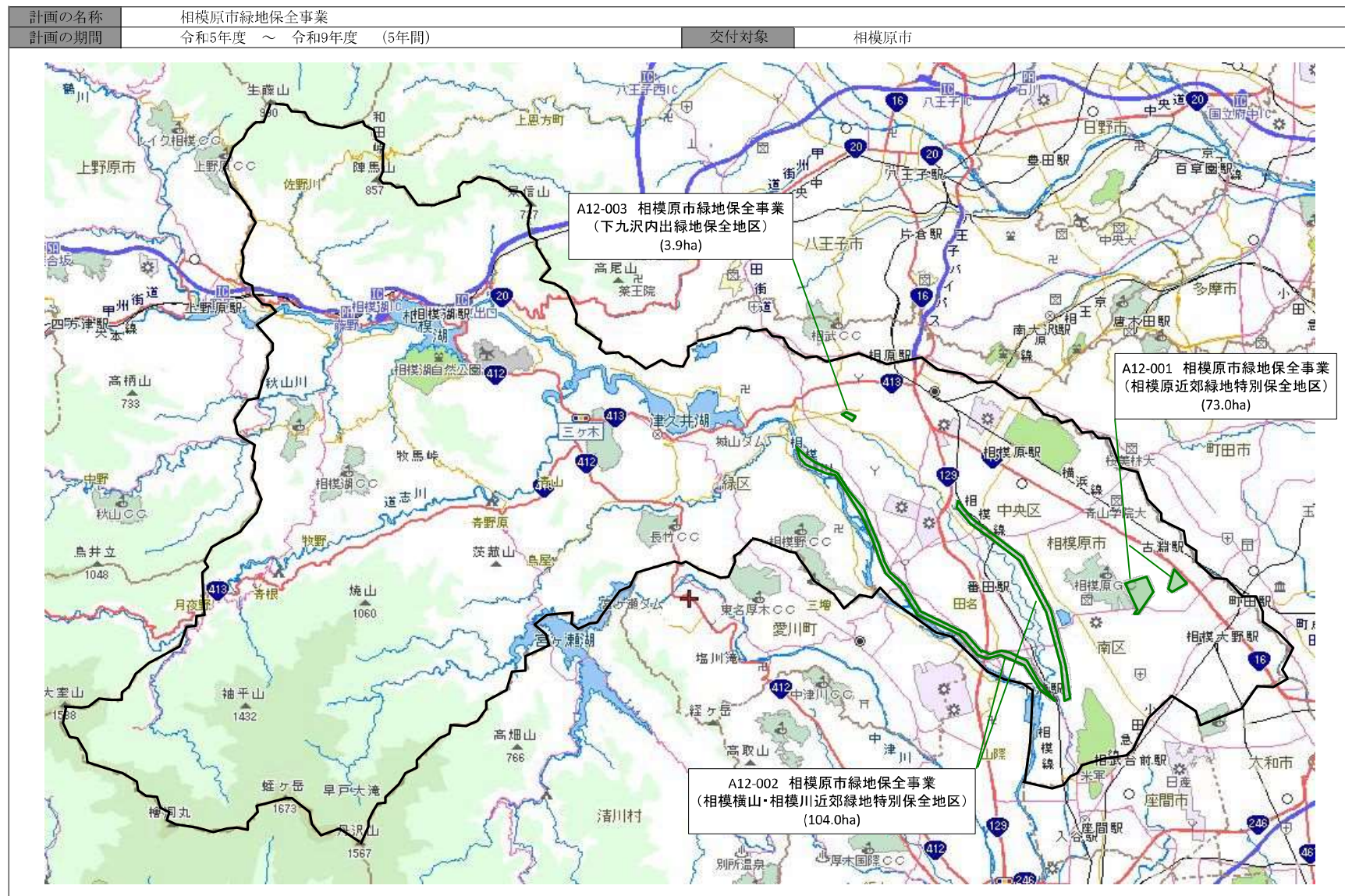
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	－	－	相模原市緑地保全事業（相模原近郊緑地特別保全地区）	土地の買入れ（5.5ha）・緑地の機能維持増進（12ha）	相模原市	■	■	■	■	■	2,545		－	
	A12-002	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	－	－	相模原市緑地保全事業（相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区）	土地の買入れ（1.1ha）・緑地の機能維持増進（0.255ha）	相模原市	■	■	■	■	■	200		－	
	A12-003	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	－	－	相模原市緑地保全事業（下九沢内出緑地保全地区）	土地の買入れ（0.1ha）	相模原市	■	■	■	■	■	30		－	
												小計						2,775		
											合計						2,775			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	90	112			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	90	112			
前年度からの繰越額 (d)	3	0			
支払済額 (e)	93	112			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 相模原市緑地保全事業

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性	
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
III. 計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 ②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○